

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 炎症の慢性化における造血幹細胞・前駆細胞ニッチの役割とその制御

2. 研究代表者： 長澤 丘司（京都大学再生医科学研究所 教授）

3. 中間評価結果

本研究課題は、骨髄 CAR 細胞が造血幹細胞のニッチであることを世界に先駆けて明らかにした実績を持つ研究代表者らが、慢性炎症における CAR 細胞の働きを解明することにより新しい視点からその病態の理解を大きく進め、ニッチを標的とした新しい慢性炎症治療法の樹立を目指すものである。慢性炎症においては骨髄由来の白血球の炎症巣への慢性的浸潤がその病態の中心をなすことから、CAR 細胞を主体とする造血幹細胞ニッチが分子レベルで解明されれば、新しい切り口での慢性炎症制御法の開発が期待される。

しかし、申請当初には炎症の慢性化における骨髄 CAR 細胞の役割の解明とその制御が本研究の主眼とされていたものの、その後は造血における CAR 細胞およびその産物の役割解明に向けての研究が主体となり、今のところ目標達成に必要なモデル動物の作成段階にとどまっている。CAR 細胞の造血における解明は世界的にトップレベルの研究であるが、慢性炎症に向けての研究という観点からはその進行は遅れている状態である。従って、今後は当初目標である炎症の慢性化における骨髄 CAR 細胞の役割の解明に向けてより忠実に研究を行うことが期待される。